

去る令和5年2月14日に開催された第139回組合会において
令和4年度決算見込みの報告及び令和5年度予算等を承認・可決しました。

令和5年度の保険料については、今後も医療費の増加が続く見込みであるため、 「医療保険料」を引き上げることとなりました。

〔後期高齢者支援金保険料〕、「介護保険料」についても引き上げることとなりました。
(各保険料の詳細は次頁をご参照ください)

令和4年度においては、高額薬剤の保険適用等による高額な医療費の件数の増加、新型コロナウイルス感染症にかかる費用の急増等により医療費が大幅に増加しており、単年度収支で約1億円の赤字となる見込みとなりました。

令和5年度においても、歳入面では、被保険者減少による保険料収入の減少、歳出面では医療費の増加傾向が続くことが確実な状況であり、その財源不足を補うため、**令和5年度につきまして「医療保険料」を引き上げることといたしました。**

また、被保険者全員が支払う〔後期高齢者支援金保険料〕及び40歳から64歳までの被保険者が支払う〔介護保険料〕については、負担額を一人当たりにより按分し算出した結果、それぞれ改定することとなりました。

令和5年度の予算額は、**総額 106億8千244万1千円** 前年度の補正予算と比較して、**1.19%増、1億2千582万1千円の増加**となっています。

当組合の被保険者数は引き続き減少傾向にあり、令和4年度の平均被保険者数は2万4千108人となる見込みです。今後も減少が予想されるため、令和5年度予算では、前年度対比で、780人マイナスの2万3千328人となりました。

歳出面では、令和4年度は高額な医療費の増加、新型コロナウイルス感染症の第7波と呼ばれる感染拡大によって、過去最大の方が感染し、軽症者や検査対象者を含む新型コロナウイルス感染症にかかる医療費が急増したため、全体的に医療費が大幅に増加する見込みです。また、これに併せて、高額療養費や療養費等を含めた「保険給付費」が令和3年度より約3億1千万円増加する見込みとなっております。令和5年度予算においても、高額薬剤の保険適用等による医療費増大が予測され、一人当たりの医療費を対前年度比約4.3%増と見込んでおります。また、社会保険診療報酬支払基金へ支払う〔後期高齢者支援金等〕の予算額は、15億6千524万円で、国の算定した加入者一人当たり負担額が大幅に増えたため、前年度予算額より約9千万円の増加となり、国からの補助金

や被保険者数を勘案した結果、一人当たり負担額は600円の増となりました。さらに、「介護納付金」の予算額は8億5千270万円となり、国からの補助金や40歳から64歳の第2号被保険者の人数を勘案した結果、一人当たり負担額は400円の増となりました。

歳入面では、令和5年度は国庫支出金の医療費等にかかる定率の補助率が14%のままとなりますが、前年度予算額より約1千473万円減の10億5千153万円となりました。

令和5年度においても、歳入面では被保険者数の減少や国からの補助金削減による収入減、歳出面では「療養給付費」(医療費)等の大幅な増加による支出増が予測され、組合財政が厳しい状況が続くため、やむを得ず「医療保険料」を引き上げることといたしました。また、国に拠出するために徴収している「後期高齢者支援金保険料」と「介護保険料」についても被保険者数に按分したうえで、引き上げることといたしました。なお、「後期高齢者組合員保険料」につきましては、現行の月額2千円のまま据え置くことにいたしました。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度 予算額内訳

(単位：千円)

